

採用試験の流れ

習志野市では、年齢・資格要件を満たせば受験できる一般採用枠と、各職種に関する職務経験を一定期間有する方が受験できる職務経験者採用枠があります。

各受験区分・職種によって試験内容が異なりますので、詳細は習志野市ホームページに掲載される受験案内をご確認ください。

例 一般採用枠 事務職(大卒) ※過年度実績



習志野市役所の教養試験の特徴は…

✓公務員試験対策不要!

民法や行政法、経済学など何十科目も出題される従来の公務員試験は行っていません。社会で求められる基礎的な知識・能力を測る試験を行っています。

✓日時・会場を選んで受験できる!

テストセンター方式を採用しているため、受験期間内の都合のいい日時と全国約300か所にある会場から選んで受験することができます。



最新の職員採用
情報はこちら



Q&A

Q.

出身地・居住地・年齢・学歴が
合否に影響することはありますか?

A.

合否へ影響することはありません。年齢や学歴、出身地等にとらわれず優秀で多様な人材を求めています。また、最終(最高)学歴により受験区分を設けており、最終(最高)学歴以外の区分での受験はできませんが、特定の学歴が優遇されることはありません。

Q.

面接試験ではどのような
準備をすればよいですか?

A.

習志野市では人物重視の採用を行っているため、公務員としての回答を用意するよりも、ご自分の考えをご自分の言葉で素直に、飾らずに伝えてください。

Q.

転職を考えていますが、
職務経験者採用枠はありますか?
また、前職の経験は給与に
反映されますか?

A.

職務経験を一定期間有する方のみを対象とした採用枠があります。基本的には各職種に関する職務経験が必要になりますが、事務職については事務未経験でも受験いただけます。また、前職の職務経験については、一定の基準で初任給に加算されます。

Q.

配属先はどのように決まりますか?
希望どおりになりますか?

A.

入庁前のアンケートや適性、組織体制などを考慮して配属先を決定します。また、キャリアプランや異動の時期を記載できる「自己申告」制度を毎年実施しています。必ず希望通りになるとは限りませんが、人材育成の観点から、幅広い分野の仕事を経験できるように配慮して人事異動を行っています。

※採用試験の内容は変更となる場合があります。最新情報は、習志野市ホームページに掲載される受験案内をご確認ください。



習志野市役所

職員採用案内



あしたの「ハーモニー」が響くまち 習志野市



習志野市の“今”を
市長が発信！

市長ニュース



職員像については、

習志野市職員の人材育成・確保基本方針

令和8年4月以降公開



市長からのメッセージ

習志野市に関心を持っていただきありがとうございます。

習志野市は都市部にありながら、面積が約21km²と県内37市中2番目に小さなコンパクトな街です。一方、人口は第9位であり人口密度は3番目に高い街です。

市民との距離も近く、自分が成し遂げた仕事が明確に見えることが大きな魅力です。

職員一人ひとりの主体的な行動とともに、習志野市民手づくりの丹精が込められたまちづくりに一緒に取り組みませんか？

習志野市長

宮本泰介



習志野市 MAP

市内7園目！藤崎こども園 開園

待機児童対策の推進を図るため、地域の子育ち・子育ての拠点となる「こども園」の整備を進め、令和7年4月に藤崎こども園が開園し、市内のすべての中学校区にこども園が完成しました。幼稚園としても保育所としても利用ができ、一時保育も実施しています。

また、併設の「こどもセンター」は、親子で自由に遊んだり、交流したりすることができる施設です。子育てに関する情報の提供も行っており、子育てで悩んだり困ったりした際の相談先としても利用できます。

県内初 令和7年4月 学びの多様化学校 開校

「なにかのきっかけで、学校に行けなくなってしまった」児童の学びの機会を確保するため、新たな学びの場として、第三中学校の敷地内に袖ヶ浦西小学校の分室を開設しました。登下校の時間、指導や学習の仕方、学習量等について、児童本人や保護者と相談を重ね、特性にあわせた柔軟な対応をしています。

数字で見る習志野市

県内37市の中で
2番目に小さい市

人口密度 県内で
3番目に高い市

津田沼駅から
東京駅まで **28分**

習志野市のことを
もっと知りたい方はこちら！



市立習志野高校

生涯学習複合施設

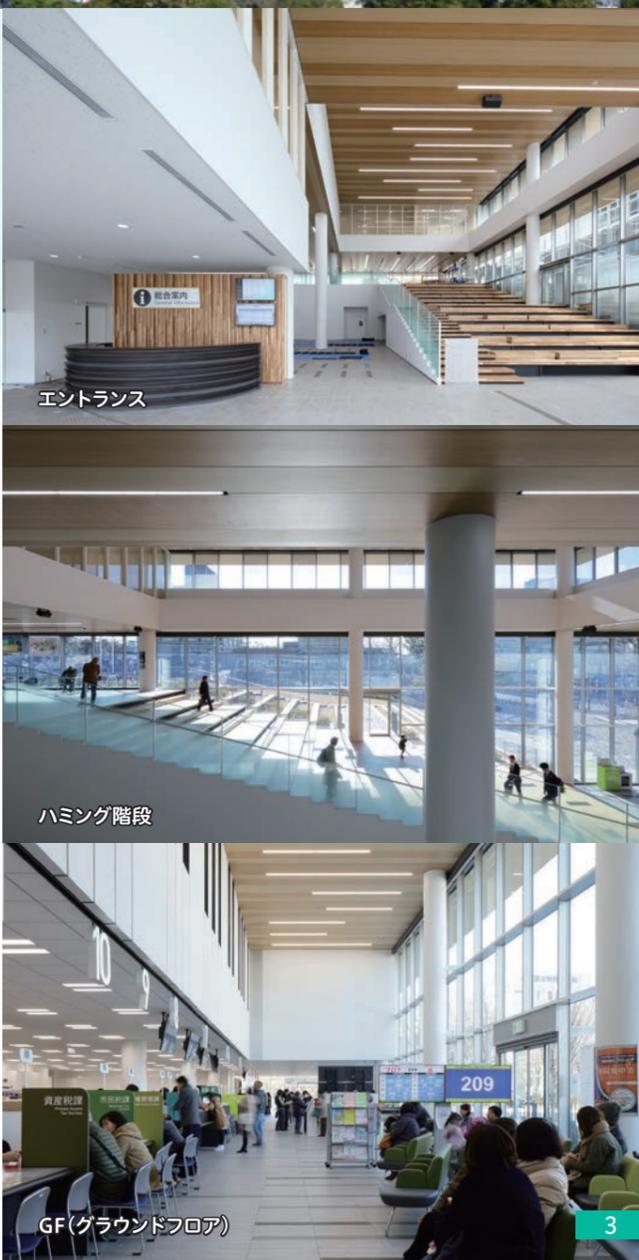
老朽化した大久保地区の公共施設を一体的に再生する事業により、公民館、図書館、市民ホール、体育館、テニスコート、公園等といった多様な役割を集約した施設が建設されました。本市の生涯学習の推進と地域の活性化を図ることを目的としています。



習志野市役所 庁舎の特徴

平成29年に完成した現在の市役所庁舎は、「まちづくりの中心となる庁舎」を目指して建設され、グッドデザイン賞にも選ばれました。

- 市民に開かれたスペース
エントランスを入ってすぐに見えるハミング階段では発表会やイベントが行われることもあり、他には展示スペース、市民交流スペースがあります。既存の市役所としての機能に加え、市民の交流の場という役割を果たしています。
- 市民も職員も使いやすいフロアづくり
住民票の異動、戸籍、マイナンバー、社会保険、税など、市民の利用頻度の高い窓口部門を低層階のGF（グラウンドフロア）に集約しており、効率よく手続きをすることができます。その他にも福祉部門は1F、こども部門は2Fにあります。また、職員は窓口で市民の対応をした後、次の担当者に対面で状況や要望を引き継ぎをしています。電話よりも細やかに伝えられるので、より迅速かつ丁寧な対応ができ、職員にとって働きやすい環境になっています。



エントランス

ハミング階段

GF（グラウンドフロア）

職員紹介



事務職
窓口サービス推進室 市民課
令和2年度入庁



受験生へのメッセージ
市役所の仕事は、幅広い経験ができるとともに、市民と最前線で関わり合いながら成長できる仕事です。今は大変な時期だと思いますが、自分がやりたいことを一つ見つけ、その思いと向き合っていけば必ず良い結果がついてくると思います。みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

Q. 現在、どのような仕事をしていますか？
A. 主に市民の住所変更の手続き、住民票・戸籍謄本等の証明書の発行、マイナンバーカードの交付などを行っています。窓口業務が中心ですが、そのほかにもコンビニ交付サービスの業務管理や居住確認のため現地へ赴き実態調査を行っています。

Q. どんな時にやりがいを感じますか？
A. 日々多くの市民と接する中で、手続きやお問い合わせをされた市民の方から、「ありがとう」「よくわかりました」と感謝の言葉を直接いただけるときにやりがいを感じます。また、市民課の業務は市民の大切な個人情報と密接に関わる業務であり、その分責任も伴いますが、無事に一日を終えると大きな達成感があります。

Q. 習志野市職員になろうと思ったきっかけは？
A. 幼少期に習志野市に住んでおり、市内の施設や公園で毎日のびのびと遊んでいた記憶があります。思い入れのある習志野市で地域に貢献できる仕事がしたいと思い、習志野市の職員を目指しました。

Q. 仕事をする上で大切にしていることや心がけていることは？
A. 忙しい一日であっても、対応させていただく市民の方一人ひとりと丁寧に向き合い、わかりやすい説明ができるよう心がけています。市民の方はもちろん、新しく市民になった方が最初に来庁する窓口なので、習志野市が居心地のよい場所だと感じていただけるよう意識して対応しています。

Q. 入庁前後でギャップを感じたことがあれば教えてください。
A. 市役所では市民サービスを提供する場というイメージが大きかったのですが、実際に市役所で働いてみると職員と市民が一体となってまちづくりをしていることを実感する機会が多かったです。

とある1日のスケジュール

8:30	9:00	11:00	12:30	13:30	17:00	17:15
1日のスケジュールの確認	他市区町村、出入国在留管理庁等からの通知の処理	前営業日分の手数料の集計	昼休憩	メールの処理	マイナンバーカードの交付前の検品等	窓口の片づけ



事務職
協働経済部 産業振興課
令和2年度入庁



受験生へのメッセージ
就職活動は大変だと思いますが、体調には気をつけて最後まで頑張ってください。職員としてお会いできることを楽しみにしています。

Q. 現在、どのような仕事をしていますか？
A. 商工業・観光の振興を担当しており、事業者支援や商店街の活性化、地域資源を活かした観光PRやイベントの企画・運営などを通して地域経済の活性化に取り組んでいます。ご当地キャラの「ナラシド・ソラシノ」と一緒に習志野市のPRも行ったりもします。関係団体や事業者など、地域の方々と交流が多くある業務です。

Q. どんな時にやりがいを感じますか？
A. 地域経済やまちの賑わいを現場で実感できることにやりがいを感じます。事業者と直接関わり、支援施策やイベントを通じて事業の成長や集客増につながったとき、その成果が地域活性化として目に見えて表れます。行政でありながら民間の活動を後押しし、まちが元気になる変化に立ち会える点が大きな魅力です。

Q. 習志野市職員になろうと思ったきっかけは？
A. 大学時代に市内で寮生活を送り、部活動や日常生活を通して地域と触れ合う中で習志野市に親しみを感じていました。慣れ親しんだまちの発展に貢献できる仕事がしたいと考え、習志野市職員を志望しました。

Q. 入庁前後でギャップを感じたことがあれば教えてください。
A. 入庁前はデスクワーク中心の仕事を想像していましたが、今の職場は年間で30~40のイベントに携わるため、現場業務の多さに最もギャップを感じました。イベントのハイシーズンは体力勝負です。

Q. 習志野市の特徴や他市との違いがあれば教えてください。
A. 市域がコンパクトなこともあり、行政と地域の方との距離が非常に近いと感じます。地域担当制など、職員が実際に地域活動に参加することもあり、地域の声に直接触れる機会が多々あることは、習志野市の特徴だと感じます。

とある1日のスケジュール

8:30	9:00	12:00	13:00	14:30	16:00	17:15
スケジュール・メール確認	週末に開催される商店会イベントの設営作業	昼休憩	ナラシド・ソラシノとテレビ番組の撮影	商工会議所、商店会との打合せ(街路灯に関する補助金の説明)	事務作業	退勤



事務職
生涯学習部 社会教育課
平成30年度入庁



受験生へのメッセージ
事務職は全ての部局へ配属される可能性があり、数年ごとに部署異動があることから、いろいろな経験を積むことができます。新しい仕事に取り組むうえで難しいことはありますが、職場にはサポートしてくれる上司や同僚、環境があり、主体的に仕事ができます。また、休暇制度などの福利厚生が充実していることから、ワークライフバランスを大切にすることができます。同じ職員になったら、ぜひ仕事も私生活も充実した毎日を送ってください。

Q. 現在、どのような仕事をしていますか？
A. 主に青少年の健全育成に関わる業務を担当しています。青少年関係団体の支援を行うほか、放課後子供教室や地域学校協働本部の運営にも携わっています。また、二十歳の門出式の企画・運営も担当し、若者が安心して成長できる環境づくりに取り組んでいます。

Q. どんな時にやりがいを感じますか？
A. 業務に取り組むなかで関わった市民の方から感謝の気持ちを直接伝えていただけたときです。習志野市の特徴であり魅力は「市民との距離の近さ」にあると感じており、市民からの反応が早く、直接フィードバックを受けられます。自分の仕事が市民の生活に直接届き、役に立っていると実感できます。

Q. 習志野市職員になろうと思ったきっかけは？
A. 私は正規職員として採用される前、臨時的任用職員(現在の会計年度任用職員)として勤務していました。その頃に先輩職員のアドバイスから、市主催のイベントのお手伝いもするようになり、その中でたくさんの方々と関わるようになりました。そこでできた人とのつながりが、他の業務にも活きるという体験をしたことがきっかけです。色々な人とつながり、業務を通して市民に貢献できる魅力的な職業と感じ、習志野市職員を志しました。

Q. 仕事をする上で大切にしていることや心がけていることは？
A. コミュニケーションをとることをいとわず、積極的に関わる姿勢を大切にしており、市民のニーズを把握したり、職場の上司や同僚と共通理解を図ったりしながら業務を進めるよう心がけています。また、分からないこと、疑問に思ったことを自分だけで解決しようとせず、声に出して周囲に助言を求めるときも日頃から意識しています。

Q. 職場の雰囲気を見せてください。
A. 職場は相談しやすく、困ったときもすぐに声をかけ合える温かい雰囲気です。係内の職員も気さくな方たちなので、仕事以外のこともよく相談したりします。自分のやりたいことを仕事に反映できる機会も多く、前向きに挑戦できる職場です。

とある1日のスケジュール

8:30	8:40	10:00	12:00	13:30	16:00	17:15
朝礼	メール確認	関連部署と調整	昼食	所管施設訪問	事務処理	退勤

育児休業 詳細は P.10へ



事務職
子ども部 子育てサービス課
平成30年度入庁



受験生へのメッセージ
うまくいわずに不安になることも多いかと思いますが、自分の価値観としっかりと向き合うことのできる貴重な機会です。諦めず納得のいくまで挑戦してみてください。一緒に働ける日が来ることを楽しみにしています。

Q. 現在、どのような仕事をしていますか？
A. 子育てサービス課手当給付係で、ひとり親家庭等への児童扶養手当の支給事務を行っています。窓口での市民の方への制度内容の案内に加えて、手当を支給するにあたっての認定審査作業、各種通知書の発行等が主な業務内容です。

Q. どんな時にやりがいを感じますか？
A. 手当を必要とされている方へ速やかに児童扶養手当を支給することにより、生活の安定や自立への支援ができていと思うと日々の業務への励みになります。また、そのご家庭のお子さんの成長を支える一助になっていると思うとより一層やりがいを感じます。

Q. 習志野市職員になろうと思ったきっかけは？
A. 民間企業に勤めていた時は、顧客やサービスが限定的となっていたのですが、老若男女問わず様々な観点から生活基盤を支えたいと思い、身近な習志野市役所の採用試験を受けました。

Q. 仕事をする上で大切にしていることや心がけていることは？
A. 何事にも明るく前向きな姿勢で取り組むよう心がけています。そして、周りや情報を共有することによって新たなアイデアや課題の解決策も出てくるので、周りとのコミュニケーションを日々大切にしています。

Q. 職場の雰囲気を見せてください。
A. それぞれ得意分野が異なるため、日々助け合いながら、些細なことでも相談できる風通しの良い職場です。昼休みや業務時間外にはプライベートな話も気軽にできる明るい雰囲気です。

とある1日のスケジュール

8:30	9:00	9:15	10:30	12:00	13:00	14:00	15:15
メール確認	朝礼	メール回答及び照会回答資料作成	補助金申請資料作成	昼休憩	審査業務	通知書作成、発送	退勤(部分休業制度を利用して時短勤務しています)

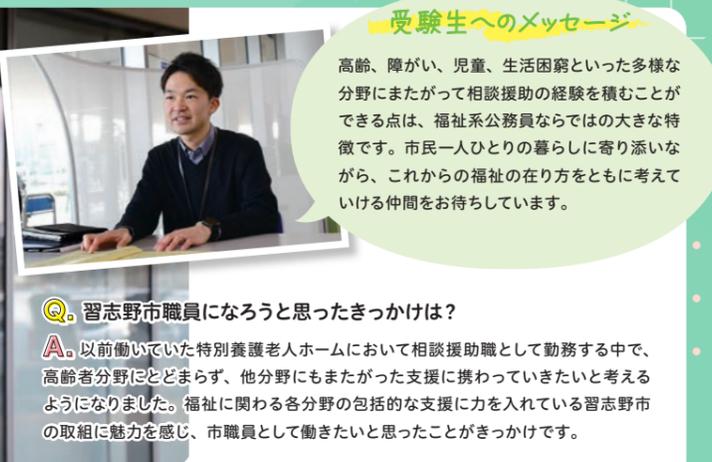
時短勤務 詳細は P.10へ



職員紹介



社会福祉士
健康福祉部 生活相談課
令和3年度入庁



受験生へのメッセージ

高齢、障がい、児童、生活困窮といった多様な分野にまたがって相談援助の経験を積むことができる点は、福祉系公務員ならではの大きな特徴です。市民一人ひとりの暮らしに寄り添いながら、これからの福祉の在り方をともに考えていける仲間をお待ちしています。

Q. 習志野市職員になろうと思ったきっかけは？
A. 以前働いていた特別養護老人ホームにおいて相談援助職として勤務する中で、高齢者分野にとどまらず、他分野にもまたがった支援に携わっていきたく考えるようになりました。福祉に関わる各分野の包括的な支援に力を入れている習志野市の取組に魅力を感じ、市職員として働きたいと思ったことがきっかけです。

Q. 仕事をする上で大切にしていることや心がけていることは？
A. 一人ひとりの声に耳を傾けることを大切にしています。厳しいご意見をいただくこともあります。それぞれの背景を踏まえ、その方にとって必要な支援を粘り強く考えることで、良い結果につながるが多いと感じています。

Q. 職場の雰囲気教えてください。
A. 明るく風通しの良い職場で、日常的に相談しやすい雰囲気があります。業務上の疑問や困難に直面した際も、同僚や上司と情報を共有しながら進めることができるため、安心して業務に専念できる環境が整っています。

Q. 現在、どのような仕事をしていますか？
A. 生活相談課のケースワーカーとして、生活保護受給世帯への家庭訪問等により生活状況を把握し、法令に基づく適正な保護費の支給を行うとともに、世帯が抱える様々な課題に対して相談援助及び自立に向けた支援を行っています。

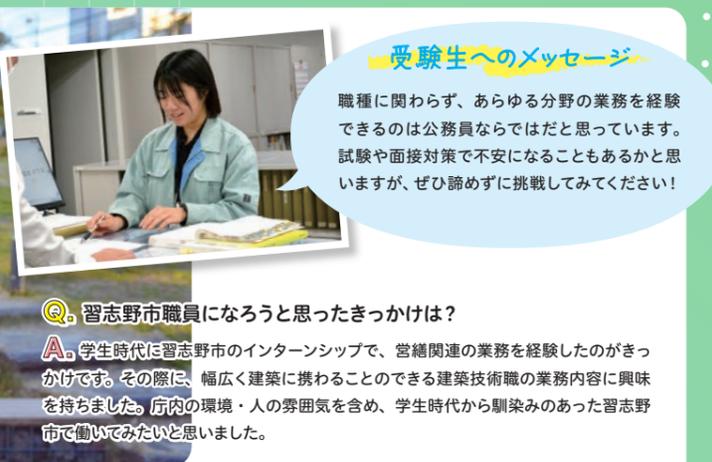
Q. どんな時にやりがいを感じますか？
A. 以前、配置されていた障がい福祉課での勤務を通じて培った知識や経験が現在の業務に生かされたときに、社会福祉士としての専門性の向上を実感しています。特に、支援に困難を要する世帯について、他部署や関係機関と連携し、複雑な課題を共有しながら支援方針を検討・実践していく過程において、強いやりがいと充実感があります。

とある1日のスケジュール

8:30	9:00	11:00	12:00	13:00	14:00	16:00	17:15
1日のスケジュール、メールの確認	ケース診断会議	収入申告書等の書類確認、生活保護費の決定事務作業	昼休憩	生活保護受給者との面談	家庭訪問	ケース記録記入	退勤



建築技術職
都市環境部 建築指導課
令和5年度入庁



受験生へのメッセージ

職種に関わらず、あらゆる分野の業務を経験できるのは公務員ならではの強みです。試験や面接対策で不安になることもあると思いますが、ぜひ諦めずに挑戦してみてください！

Q. 現在、どのような仕事をしていますか？
A. 建築基準法やその他関係法令を基に、書類審査や届出申請に関する業務、耐震化支援に関する補助金交付の業務などを行っています。自席で書類と向き合う業務もある一方で、窓口を立て業者の方からの相談や書類の発行、現場に出て検査・調査をすることも多い課です。

Q. 印象に残っている仕事は何ですか？
A. 入庁1年目の時に避難所職員として石川県珠洲市に行きました。実際の避難所、被災した街を目の当たりにしたことにより、災害時における建物・インフラ関係の重要性を実感しました。災害派遣という市役所職員ならではの業務内容を体験できたのは今でも大きな財産となっています。

Q. 習志野市職員になろうと思ったきっかけは？
A. 学生時代に習志野市のインターンシップで、営繕関連の業務を経験したのがきっかけです。その際に、幅広く建築に携わることのできる建築技術職の業務内容に興味を持ちました。庁内の環境・人の雰囲気を含め、学生時代から馴染みのあった習志野市で働いてみたいと思いました。

Q. 職場の雰囲気を教えてください。
A. フロアによって雰囲気が大幅に変わるのが特徴の一つでもあると思います。4階の都市環境部は特に作業着の職員が多いです。建築指導課は毎日が勉強といった感じですが上司、先輩誰にでも相談しやすい環境で、とても仕事がしやすい雰囲気です。

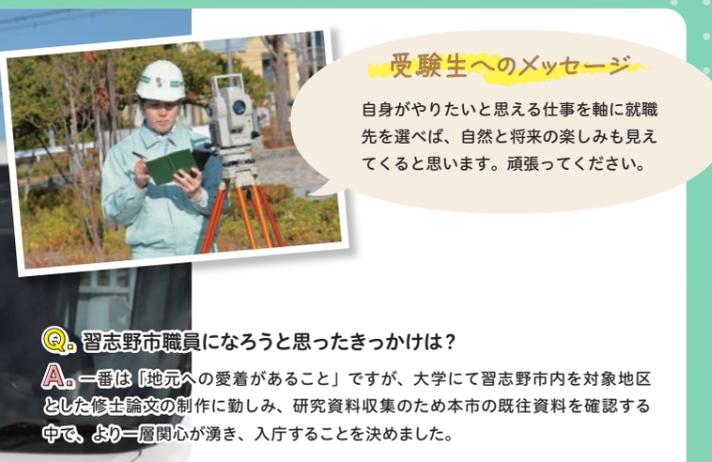
Q. 習志野市の特徴や他市との違いがあれば教えてください。
A. 習志野市は面積が小さいので、道を覚えやすく、地域の状況を把握しやすいのが特徴です。また、平日の仕事終わりに自転車でスタジアムに行って野球観戦をすることもでき、近いところに様々なスポットがあるのは習志野市ならではの魅力だと思います。

とある1日のスケジュール

8:30	9:00	11:00	12:00	13:00	14:00	16:00	17:15
スケジュール・メール確認	書類審査	窓口対応	お昼休憩	打合せ・調査準備	現地調査	報告書作成	整理整頓・退勤



土木技術職
都市環境部 街路建設課
令和6年度入庁



受験生へのメッセージ

自身がやりたいと思える仕事を軸に就職先を選べば、自然と将来の楽しみも見えてくると思います。頑張ってください。

Q. 習志野市職員になろうと思ったきっかけは？
A. 一番は「地元への愛着があること」ですが、大学にて習志野市内を対象地区とした修論論文の制作に動かし、研究資料収集のため本市の既往資料を確認する中で、より一層関心が湧き、入庁することを決めました。

Q. 職場の雰囲気を教えてください。
A. 土木の専門知識が日々飛び交う環境で、先輩方の話に耳を傾けるだけでも学びが多く、自分の知識や理解が着実に深まっていく実感ができる職場だと思います。

Q. 習志野市の特徴や他市との違いがあれば教えてください。
A. 地理的な話に触れると「本市は小面積で人口密度が高いこと」が一番の特徴といえます。それは市政にも活かされており、市民からの多様な要望を把握しやすく迅速な対応ができること、そうした市政体制が職員の共通認識であることが本市の強みだと思います。

Q. 現在、どのような仕事をしていますか？
A. 将来の都市交通ネットワークの構築のため、都市計画道路の整備計画、設計および施工までに関わっています。また、それら都市計画道路の事業状況の把握や管理の他、「習志野市バリアフリー移動等円滑化特定事業計画」に基づく、駅前広場昇降施設や点字ブロック等の整備計画、設計および施工に至るまでの業務に関わっています。

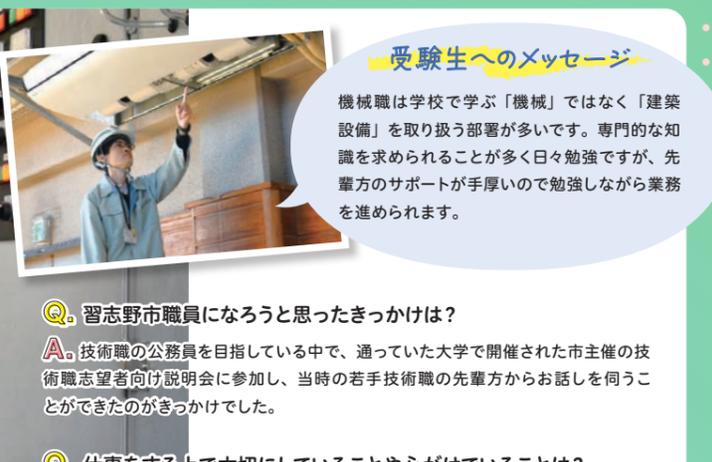
Q. どんな時にやりがいを感じますか？
A. 報告書の提出や工事の竣工を迎えたとき、業務への達成感が得られるのはもちろんですが、土木技術職としてのやりがいを強く感じる瞬間は、その前段階である設計や図面作成の過程にあると思っています。自身の考えを形にしていく中でそれらを設計書や図面に落とし込み現場へ繋げていく、そうした実感が得られる点に魅力を感じています。

とある1日のスケジュール

8:30	9:00	11:00	12:00	13:00	13:30	14:30	17:00	17:15
朝礼、メール確認等	道路工事現場確認	現場協議事項の共有および整理	休憩	メール確認等	道路設計業務打合せ	書類整理および窓口対応等	残務処理等	退勤



機械技術職
資産管理室 施設再生課
平成28年度入庁



受験生へのメッセージ

機械職は学校で学ぶ「機械」ではなく「建築設備」を取り扱う部署が多いです。専門的な知識を求められることが多く日々勉強ですが、先輩方のサポートが手厚いので勉強しながら業務を進められます。

Q. 現在、どのような仕事をしていますか？
A. 主に公共施設の営繕業務と言って公共施設を長く使うために必要な工事の設計や工事監理を行っています。中でもエアコン等の空調設備や水廻りに関する工事等を担当しています。最近では市立の小中高等学校体育館にエアコンを設置する工事の設計及び現場の監理に関わっていました。

Q. どんな時にやりがいを感じますか？
A. 携わっていた工事が無事完了し設置した設備により利用する方々に喜んでいただくとやってよかったなと感じます。最近では空調を設置する工事に携わることが多く、設置後に現地確認した際に直接言っていただけでもいいため実感が強いです。

Q. 習志野市職員になろうと思ったきっかけは？
A. 技術職の公務員を目指している中で、通っていた大学で開催された市主催の技術職志望者向け説明会に参加し、当時の若手技術職の先輩方からお話を伺うことができたのがきっかけでした。

Q. 仕事をする上で大切にしていることや心がけていることは？
A. 既存建物の工事を行う場合、施工に入れる時期や設備を設置できる場所など様々な制約があります。その中でも少しでも利用者へ寄り添った施設になるよう関係部署と調整を行い設置位置や工事内容の検討を行っています。

Q. 入庁前後でギャップを感じたことがあれば教えてください。
A. 入庁前は、技術職は忙しいイメージがありましたが、実際には職員ごとに個別の案件を持つことが多く、先輩職員や上司と相談しながら、ある程度自分のペースで業務を進めることができます。忙しい時期もありますが、計画的に進めることで休暇を取りやすく、仕事とプライベートのバランスが取りやすいと感じています。

とある1日のスケジュール

8:30	9:30	12:00	13:00	13:30	15:30	16:30	17:15
メール等確認	現場にて搬入材料及び進捗状況の確認	昼休憩	提出された工事書類の確認	設計事務所と打合せ	担当する施設の現地打合せ	工事書類の確認	退勤



職員紹介



保健師
健康福祉部 健康支援課
令和3年度入庁

Q. 現在、どのような仕事をしていますか？
A. 地区担当保健師として、母子健康手帳の交付から新生児訪問、健康相談、健康診査など妊婦さんから乳幼児期までのお子さんの健康づくりに関する業務を中心にしています。また、幼稚園や小学校、中学校、公民館に出向き、乳児から高齢者までの幅広い年代の方に向けて、健康教育や相談も担っています。

Q. どんな時にやりがいを感じますか？
A. 訪問先や健康相談時に、市民の方が「相談して良かった。」と笑顔で帰宅される姿に励まされています。その後、健診会場等で声をかけてくださり、頼っていただけていること、お子さんの成長と一緒に見守れることにやりがいを感じます。また、地域や各種イベント等の活動を通じて地域の方と身近に接する機会が多いことも楽しさの一つです。

とある1日のスケジュール

8:30	9:00	10:00	12:00	13:00	15:00	17:00
朝礼	スケジュール・メールの確認 事業の準備	会場に移動し、健康相談、 健康教育等の準備、実施	昼休憩	電話、家庭訪問で 個別相談の対応	ケースの相談、事業の打合せ、 他機関と電話で情報共有	明日以降の事業準備 個別対応と事業の記録作成、 健康教育等の書類作成



受験生へのメッセージ
 習志野市は、谷津干潟や緑あふれる公園などの自然や音楽、スポーツも盛んな魅力的な地域です。仕事で不安な部分は、先輩方の心強いサポートもあり、自身の成長ややりがいを感じられる環境です。一緒に働けるのを心待ちにしています。

Q. 習志野市職員になろうと思ったきっかけは？
A. 生まれ育った愛着のある習志野市で、市民の方々が生涯にわたりいきいきと安心して幸せな生活が送れる健康なまちづくりの一助となり地域活性化に貢献することで、地元に戻返しをできればと思い入庁しました。

Q. 仕事をする上で大切にしていることや心がけていることは？
A. 多様化する社会のなかで、地域の特性や課題を捉えながら、市民の方々の思いに寄り添い、不安を少しでも軽減できるようなお声掛けや支援を心がけています。また、チームで仕事する場面が多く、日々の報告、連絡、相談は欠かさず行っています。

Q. 職場の雰囲気を見せてください。
A. 普段からコミュニケーションが盛んで、気軽に相談できます。また、所属課全体でケースを検討し、協力しながら日々の業務を行うことができている。個々のペースに沿った教育も整っており、知識や経験が深められる職場です。



保育士・幼稚園教諭
藤崎こども園
令和2年度入庁

Q. 現在、どのような仕事をしていますか？
A. 5歳児クラスの担任として、子どもたちの興味や楽しんでいることを読み取り、子どもたちが主体的に遊びや生活を進めていくことを大事に、保育をしています。保護者の方へ、写真掲示や送迎時の会話を通して、こども園の教育・保育の内容やこどもの成長を伝え、信頼関係を築くことも大切にしています。

Q. どんな時にやりがいを感じますか？
A. 園生活の中で、いろいろな遊びや活動を通して、こどもの成長を感じた時やいきいきとした表情を見ることができた時がとても嬉しく、やりがいを感じます。また、こどもから「大好き!」と言われたり、保護者の方と一緒に成長を喜んだりする度、この仕事をしてよかったと思います。

とある1日のスケジュール

8:30	9:30	10:00	11:45	13:00	14:00	14:15	15:00	17:00
時間外保育からの引継ぎ、 こどもの受け入れ	朝の集まり	クラス活動、 戸外遊び など	給食準備・ 給食	室内遊び	帰りの集まり 短時間降園 預かり保育へ引継ぎ 長時間児引継ぎ	休憩	連絡帳記入 教材準備 書類作成 など	順次降園 時間外保育へ引継ぎ 保護者対応



受験生へのメッセージ
 元気いっぱいな子どもたちと過ごす日々はとても楽しく、パワーをもらえます。また、子どもたちの感性や発想に驚かされることも多く、毎日がとても面白いです。採用試験に向けて、対策は大変だと思いますが頑張ってください! 習志野市で待っています!

Q. 習志野市職員になろうと思ったきっかけは？
A. 習志野市の施設を見学した際、子どもたちが自分で生活を進めている姿や、**子どもたちの遊びや気持ち**を大切にしているところ（制作途中のものを残しておき、翌日続きができるなど）が素敵だなと思い、私も一員になり習志野市で働きたい**と思ったことがきっかけ**です。

Q. 入庁前後でギャップを感じたことがあれば教えてください。
A. 入庁前は、不安な気持ちが大きかったのですが、入庁後、一緒に働く先生方から保育者が思いきり楽しむことがこどもの楽しさや成長につながるということを教わりました。今は、子どもたちとたくさん笑って楽しく保育ができています。

Q. 職場の雰囲気を教えてください。
A. 明るくあたたかい先生方が多く、こどもの姿や成長を話しやすい雰囲気があります。悩んだり困ったりしている時には、相談に乗ってくださったり、「大丈夫だよ」と励ましてくださったりする優しい先輩方がたくさんいて、とても心強いです。



消防職
東消防署
令和4年度入庁

Q. 現在、どのような仕事をしていますか？
A. 私は現在、特別救助隊として活動しており、日常業務では各種届出の事務処理や災害対応訓練を行っています。火災現場や交通事故など多種多様な災害現場に出勤し、人命救助の最前線で活動をする仕事をしています。

Q. どんな時にやりがいを感じますか？
A. 私たちの仕事はチームワークが命です。日々の過酷な訓練を仲間と共に乗り越えチームワークを築き、実際の現場活動では「私たちがいなければ助からなかった命」を救った時の達成感や安堵感他は他の仕事では得られない特別なやりがいを感じます。

とある1日のスケジュール

8:30	9:30	12:00	13:00	16:00	18:00	23:00~5:55	5:55~8:40
大交代(出勤準備、 反対班からの申し送り、 スケジュール等の確認)	事務処理、 災害対応訓練 (119番入電が入った際には救急出場しています。)	休憩	建物調査出向	夕食作り兼夕食、 車両点検、掃除	事務処理、 夜間訓練、 体力錬成	仮眠	大交代準備 (反対班に引き継ぐ ための準備)



受験生へのメッセージ
 日々の受験勉強、本当にお疲れ様です。人生の分岐点となる今、不安や焦り、プレッシャーもあると思います。しかし、今までやってきた努力は必ず報われると思うのでネガティブ思考にならずポジティブ思考で頑張ってください。

Q. 習志野市職員になろうと思ったきっかけは？
A. 私は生まれも育ちも習志野市であり、ここまで支えてくださった家族や友人、地域の方々そして習志野市に直接的に戻返しをしたいと思ひ習志野市職員を目指しました。

Q. 仕事をする上で大切にしていることや心がけていることは？
A. 私たちがする仕事において出勤する災害に規則性はなく常に臨機応変に対応する必要があります。そのため、教養訓練や災害想定訓練などを通して想定内の幅を広げて想定外を減らす事を大切にしています。

Q. 職場の雰囲気を教えてください。
A. 24時間、苦楽を共にして同じ場所で生活するため家族のような関係が築けています。そのため常に活気あふれる職場です。



消防職
中央消防署
令和5年度入庁

Q. 現在、どのような仕事をしていますか？
A. 消防士として私は火災・災害の現場で人命救助活動や救急活動及び火災予防業務を行っています。現在は救急業務を主に取り組み、急病人やけが人への迅速な処置、適切な病院への搬送など命に直結する業務を日々行っています。

Q. どんな時にやりがいを感じますか？
A. 市民の不安を取り除き、命や安全を守れたと実感した瞬間です。火災現場や救急現場での確に対応し、無事活動を終えた際の達成感また、感謝の言葉を掛けられたときのやりがいはとても大きいです。

Q. 職場の雰囲気を教えてください。
A. 私の職場は、困ったことがあればすぐに相談できる雰囲気があり、特に信頼できる上司が的確に支えてくれます。安心して業務に取り組める環境です。



受験生へのメッセージ
 受験勉強は大変ですが、努力した時間は必ず自信に繋がります。不安もあると思いますが、一つ一つ積み重ね自分を信じ最後まで全力で頑張ってください。

Q. 習志野市職員になろうと思ったきっかけは？
A. 出身地は千葉県ではありませんが、消防士として市民の役に立ちたいという思いから習志野市で働く道を選びました。幅広い現場経験を積める環境に魅力を感じ、この地域に貢献したいと考えました。

Q. 仕事をする上で大切にしていることや心がけていることは？
A. どんな場面でも確認作業を怠らないことです。特に現場活動では、一つの見落としが重大な結果につながるため、状況判断や安全確認を丁寧に行うよう心がけています。また、隊員同士の情報共有を徹底し、常に最善の活動が行えるよう努めています。

Q. 習志野市にはどんな特徴がありますか？
A. 習志野市は市域が比較的小柄で、初めて来た人でも道を覚えやすいのが特徴です。生活圏がまとまりやすく、移動もしやすい環境が整っている点が魅力です。

とある1日のスケジュール

8:30	8:35	8:45	9:00	9:30	12:00	13:00	13:30	16:00	17:00
大交代	日朝点検	各隊申し送り	事務処理、 メール等確認	資器材点検	昼休憩	各隊申し送り	救急資器材 取り扱い訓練・座学	事務処理、 メール等確認	車両清掃・ 日夕点検

